

松川村議会だより

第173号
12月定例会

住民との懇談はじまる!! 川西・緑町・緑町中區で開催



 今年もよろしくお願いたします 

新年のごあいさつ

議長 平林寛也

あけましておめでとうございませう。

昨年の日本は自然災害が頻発しましたが、松川村は被害も少なく、自然環境に恵まれていることに感謝しています。

議会は昨年、住民との意見交換会を開催し、貴重なご意見を多数いただきました。今後の議会活動に生かしていきますし、今年も開催する予定です。

松川村も少子高齢化による人口減少問題など、多くの課題があります。

今年も行政とともに諸課題に真摯に対応し、村の発展と村民福祉の向上に努めてまいります。

村民皆様方のご支援をお願いし、新年のごあいさつといたします。



陳情の審査結果

件名	採決結果
「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について	採択
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情	採択



お知らせ

太田繁義氏が、昨年10月末日をもって議員を辞職されました。

これにより、村長選挙に併せて、議員補欠選挙が実施される予定です。

平成30年第4回定例会は、12月11日から20日までの10日間の会期で開催しました。上程された議案は専決1件、議案10件で、すべて承認及び可決しました。
また陳情2件は、社会福祉文教常任委員会に付託され、結果は左記のとおりです。
会期中、松川中学校3年生の公民の授業に「議会出前講座」として参加させていただきました。(22ページ参照)
18・19日の両日、村政について9名の議員が一般質問しました。(19〜21ページ参照)

12月定例会 議案審議結果 すべて全会一致で承認・議決（千の位を切り捨て）

件名	内容
平成30年度松川村一般会計補正予算（第6号） （専決第11号）	259万円追加し、39億7713万円とする。 すずむし荘宿泊棟設備の修繕費に259万円。
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当の一部を改める。
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当の一部を改める。
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当・給与の一部を改める。
北アルプス広域連合規約の一部を改正する規約	市立大町病院併設施設（感染症病床）の維持管理事務を大町病院に移す。
平成30年度松川村一般会計補正予算（第7号）	1405万円追加し、39億9118万円とする。 保育園の全ての保育室にエアコンを設置する。
平成30年度松川村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	32万円追加し、10億7711万円とする。
平成30年度松川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	57万円追加し、1億1193万円とする。
平成30年度松川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	3万円追加し、5億3443万円とする。人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当・給与の一部を改める。
平成30年度松川村水道事業会計補正予算（第3号）	188万円追加し、1億8563万円とする。人事院の給与改定に関する勧告に伴い、期末手当・給与の一部を改める。
平成30年度松川村一般会計補正予算（第8号）	1億4461万円追加し、41億3579万円とする。 小・中学校全教室にエアコンを設置する。

住民懇談会の報告

議会では、「安心して楽しく元気に暮らしていける村づくり」を目指して、行政区や各種団体・有志の方々などとの懇談会をはじめました。

今回は、3つの行政区で行われた懇談会の報告です。参加された皆様からは、いろいろなご意見やご要望をいただきました。ありがとうございます。

5年先、10年先の松川村を想う方々のお気持ちも感じられました。

川西区懇談会

- ・11月23日（川西公民館）
- ・参加者 男性…6名
女性…5名
議員…6名

緑町区・緑町中区懇談会

- ・11月30日（コミュニティ緑町）
- ・参加者 男性…16名
女性…2名
議員…11名

懇談会の運営方法やその内容、議会に対するご意見もいただきました。さらに改善して、より良い懇談会になるように努めてまいります。

引き続き懇談会へのご参加をお願いいたします。



▲川西区懇談会



▲緑町区・緑町中区懇談会



買い物サポート事業

矢口あかね

問 新たな介護保険事業
買い物サポートの目的は。

答 65歳以上の介護予防と社会参加を促す事を目的とした北アルプス広域事業。

問 事業内容と広域・松川村の各予算は。

答 買い物した荷物を無料で配送する支援で、広域は約100万円。村は約20万円の予算である。

問 サービスの流れや対象者数、注意事項は。

答 免許返納予定者や徒歩・自転車で行く物に行く方が対象で20名を予定。包括支援センターに事前登録が必要。配送は翌日以降のため生鮮品は不可。サイズや重さの制限がある。

問 福祉バスりんりん号使用者は利用可能か。

答 利用できる。

問 サービスの登録状況と事業期間は。

答 11月現在16名が登録。国のモデル事業として2月末までの事業。

問 この事業の課題と来年度の継続の見通しは。

答 採算性と配送負担をクリアした協力店舗を増やせるかが課題。二ーズ調査も兼ねている。事業は来年度も継続を予定。

図書館の相互利用

問 5市町村の各図書館相互の半年間の貸し出し利用状況は。

答 広域全体で1667冊、村内は229冊。

問 事業予算と1冊あたりのコストは。

答 全体で約60万円、そのうち村負担は約10万円。1冊あたりのコストは180円。利用者には好評である。

問 課題と新たな構想は。

答 図書館の規模により温度差があり、活発に利用する自治体の負担が増える懸念はあるが、各館で特色ある書籍の収集に努めたい。

問 農業は村の基幹産業と思う。村農業の重要性をどう見るか。

答 田や畑を守り安曇野の最後を守ってきた農業者に感謝し、支援はこれからも行う。

問 農家数、兼業農家数、1戸当たりの耕作面積は。

答 農家468戸、兼業農家359戸、1戸当たり耕作面積241^ア。

問 厳しい経営の中で、道の駅や学校給食などに農産物を提供し村民の健康、景観を保全している農家に村独自の支援を。

答 農家の苦労は理解しているし、報いるべく支援はしている。様々な交付金制度があるので活用してほしい。

問 集落の機能が発揮できるように、新規事業を含め、人や経費を投入し支援する「松川村版人・農地プラン」を提案したい。

答 要請があれば職員・専門家の派遣や費用負担



農業

上田 治美

地下水

問 2・5キロ上流にサントリーの水工場ができる。率直な感想は。

答 村はこれ以上水を探らせない方針でいる。何かあれば大町市が対応するよう伝えてある。

問 地下水位は季節により変化する。サントリーと村水道の井戸は同じ深さであり、水位が低下する時の影響が心配される。資料提供を求めないか。

答 現状では求めない。

問 あづみ病院への乗り入れに感謝する。「とをしや」への乗り入れなど改善を。

答 利用者の意見を聞きながら、改善に努める。

問 村男性職員の育児休暇取得は。

答 「村職員の育児休業等に関する条例」に基づき男性も取得できる。

問 保育士不足を解消するには、意欲のある子育て中の保育経験者の確保も大切では。

答 質の高い保育を提供するうえで重要と考える。

問 児童虐待を撲滅することが重大であると考えるが、行政としての具体的な取り組みがあるか。

答 2つの事業で、出産後の体の回復や育児不安・負担の軽減事業と、保護者の疾病や育児疲れなど、養育が困難となった時に、保護者の養育負担の軽減をはかる。

問 誰にも看取られなく孤独死するケースが発生している。村の対策は。

答 民生委員や地域包括支援センター職員による訪問を行っている。

問 認知症患者の行方不明、徘徊が発生する事態に対応できる体制は整っているか。

答 大町署と「高齢者の安全支援に関する協定」を締結。高齢者の事故発生に早期対応する体制を取り、あづみ病院とは業務委託を締結して、精神科医から必要な助言を得ている。

問 村役場の障がい者雇用の実態は。

答 法律が定める雇用率を満たしている。

問 特別養護老人施設の状態は。

答 北アルプス広域連合の介護保険事業計画により、3月に特別養護老人ホーム(定員50名)が開所。本年度は、松川村に5床の増設が完成。来年度に白馬・小谷地区に定員29名の介護事業所を計画している。



社会福祉

小原 吉幸

一般質問 9人の議員が登壇 平成30年12月18日・19日

一般質問



村政130周年に向けて

勝家 尊

問 村民から資料を集めて「思い出アルバム」DVDの製作を望むが。

答 現在、松川村村政施行130周年の式典・イベント等検討中である。提案を含め検討する。

多目的センター10周年

問 記念事業の目玉は。

答 村民参加の企画を検討中である。6月に三井住友海上文化財団による金管楽器アンサンブルを計画している。

サントリー水工場

問 村内の井戸への影響が心配。地下水調査会社からの説明は可能か。

答 各種調査を実施した上で、大町市の説明を受けた。これ以上の説明は求めない。

問 万が一、松川村の井戸に影響があった場合に備え、補償を求める覚書は。

答 機会をみて大町市と取決めをしたい。

教育行政への提言

問 小中学生のインター

ネット利用に関する調査は。

答 6年生の保護者を対象に実施。中学校でも生徒を対象に実施した。

問 「ネットリテラシー」の教育をしているか。

答 小中で実施している。小学校では参観日の際に北安の生徒指導連絡協議会と連携し、大手携帯電話会社の「スマホ安心教室」で保護者と一緒に学習した。中学では道徳や学活の授業でネットモラルを扱うなど注意喚起をした。

いじめの実態

問 ネット等でのいじめの実態を把握しているか。

答 中学校で報告が1件あった。1対1のトラブルであり当事者同士の話し合いで解決した。他人を傷つける行動・言動に対し、毅然とした対処をする。困ったときは、いつでも相談できる体制を整えている。

さらに住み良い松川村



さらに住み良い松川村

茅野 靖昌

問 森林山村多面的機能発揮対策事業の継続内容は。

答 活動組織の4年目以降は、交付金が12万円から6万円と半額となる。

問 交付金が半額になると、不足分を村が補填できるか。

答 村として補填は考えていない。

問 長野県森林づくり県民税活用事業に取組む場合の協議会設立と事業年度は。

答 既存の協議会でも可能。その場合は、会計を区分する必要がある。また、事業期間は、平成31年度から34年度まで。

問 里山整備利用促進協議会の認定要件は。

答 対象森林面積が5畝以上、密接に係る集落が存在。地域住民等による自発的な活動体制。里山の整備利用推進活動、継続的な活動。

問 協議会の活動地域は。

答 認定されれば、松川村も対象となる。

問 認定の手続きは。

答 認定要件を満たしてから村に認定申し出をし、村より県へ申し出をする。森林所有者と活動団体、県の3者による10年間の協定。

問 森林環境譲与税を活用した事業の開始年度、事業内容は。

答 平成31年度より開始。内容は、12月20日の担当者会議で判明する。

問 村道の外側線の維持管理は。

答 年間300万円の予算で学校周辺、幹線道路を中心に実施している。カーブミラーや道路標識の新設修繕も賄うため、年間1kmから2kmの施工。

問 村道全ての外側線を完了する年数は。

答 約20年以上。

問 予算を増額して対応できないか。

答 対応する。



財政状況及び将来予測

大和田耕一

問 財政状況指数は。

答 財政力指数0.38、經常収支比率75.6%、実質公債費比率3.5%。

問 この数値で「村の財政は豊か」と言えるのか。

答 豊かとは言えない。更なる健全化を目指す。

問 将来の予算予測は。

答 将来予測はしてないが、40億前後で推移すると思われる。

問 予算が減少した場合、行政に及ぼす影響は。

答 事業の選択・再構築により持続可能な財政を目指す。

問 国は一般交付金に替わり「地方創生推進交付金」などの制度を厚くしているが、活用状況は。

答 「安曇野地域農産物・特産品輸出と外国人旅行者誘致事業」以外はない。

自主財源確保の方策

問 企業誘致は自主財源確保の有効手段であると思うが、具体的な手法は。

また、観光関連企業の誘致は。

答 新たな工業用地は用意していない。問い合わせがあれば考える。

問 産業振興のために観光協会、商工会を強化し、攻撃型の体制作りをしないか。

答 検討してみたい。

問 第7次総合計画を策定するうえで官学連携、シンクタンク、コンサルタントを活用しないか。

答 松本大学、信州大学との連携を考えている。それ以外に良い方策があれば検討していく。



▲豊かな自然との調和を！

一般質問



農業振興

平林 幹張

問 農業の位置付けに関し、様々な議論の集約は。

答 基幹ではなく、重要な基盤産業である。

問 生産調整廃止に伴う産地間競争激化の中で、本年総括と来年度の展望は。

答 需要供給バランスと産地間調整で乗り切った。来年度に向け再生協議会を検証・検討したい。

問 T P P 11が12月末発効となる。この影響は。

答 オーストラリア6000トンは、備蓄米の範囲。今後全体を注視していく。

問 強い農業・担い手づくり総合支援の取扱いは。

答 現在2名が申請中。

林業振興

問 土砂災害特別警戒区域の北和田沢砂防事業の見通しは。

答 計画の詳細説明がなく、年度末の決済に期待。

問 付随する林道北和田線舗装修繕工事580m

答 おおむね良好の評価である。

の詳細設計・測量実施と、その先の整備は。

答 年次計画策定、緊急時は、随時補修等を併用。

問 森林環境譲与税の活用に向けた具体策は。

答 林地台帳整備事業を通じ、森林管理システムを活用。所有者責務や事業の誘導・啓発活動強化を協議会で展開する。

問 特定業者委託以外、任意の下部組織提案が可能か。

答 可能である。要件整備と補助金対応の協議会形式が望ましい。

問 森林環境税に関し、国策であるCNF開発について国内木材に及ぼす影響は。

答 国家戦略強化の動きで大いに期待をしている。

地方創生と総合戦略

問 農産物輸出の試験結果は。

答 おおむね良好の評価である。



多目的交流センター10周年に向けて

平林 泉

問 多目的交流センター建設の目的、要項は。

答 村民の生涯学習の充実、芸術・文化の振興など、村民の交流の場とする。また、公民館として建設している。

「松川村多目的交流センター設置及び管理に関する条例」により設置している。

問 使用者の反応は大変好調で、特にホール舞台、図書館利用者は好調であるが、館長の総括は。

答 建設にあたり、ワークショップを何度も開催し、村民の意見を反映した結果と思う。

問 公民館主催の事業はどんな基準で決定するか。

答 多目的交流センター、公民館設置の趣旨に基づき決定。

問 多目的ホールの公民館主催の成功事例は。

答 五月の風音楽祭、ファミリールコンサート、クリスマスパーティーなど。

問 10周年記念事業は、村民参加型で計画し、各地区からのイベント企画の募集や安曇節保存会を中心とする伝統文化、安曇節大会などはどうか。

答 公民館運営審議会や、公民館長からの要望もあり、予算も検討して、希望に添いたいと思う。



▲すずの音ホール

除雪支援

問 高齢者世帯や要介護者への除雪応援として、除雪希望者・支援者の登録制度や一部補助金支給の事業創設は。

答 現在考えていないが今後検討したい。



今年を振り返ってと来年度の抱負、目標を

梨子田長生

問 どんな年でしたか。

答 天候にも恵まれ、災害のない平穏な年だった。

問 漢字1文字で表すと。

答 「輝」としたい。

問 来年の抱負と目標は。

答 健康に努め方向を間違えないように進みたい。

問 生活保護基準の見直された項目は。

問 閲覧方法は。

答 生活扶助基準の段階的見直し、児童養育加算及び母子加算も検証見直した後に支給。

問 具体的な村対応は。

答 理由を併せて通知。

問 大町保健福祉事務所で行うため、村は特にない。

問 歴史的な公文書の公開展示は可能か。

問 自立支援法改正点は。

答 請求に基づき決定分は公開可能。

問 定義の明確化。支援制度を勧める努力義務を創設。支援会議の設置。

就労準備支援と家計改善

問 松川村誌の発行は。

住みよい松川村にするために

松中3年生から村議会議員への質問 12月14日



Free wi-fiがあれば
災害時や通信障害の時にも
役立つと思います!!



雨引かなで
何を
キャラクター?



ペットボトルや
野菜くず、ゴミ袋が
川に落ちています
みんなで掃除を
しませんか



バスケット
ゴールがあれば
いいなあ…



街灯をふやすことは
できますか?



山雅のホーム
タウンに加入して
欲しいです!

10年後に
松川中学校は
まだありますか?



総合体育館を作る
のは無理ですか?

* 編集後記 *

昨年は地震や豪雨に始まり、相次ぐ台風や記録的な猛暑が列島を襲うなど、いつになく大自然の猛威を感じさせられる年でした。このような年中、平成最後の幕が閉じました。

新人議員1年生、すべてが勉強、「一念天に通ず」志を強く自立研鑽を誓います。今年は何という年号になるでしょうか？

村民がますます健康で明るく過ごせる村づくりにお互いに努力しましょう。

健康で平穏な一年を祈ります。

平林 泉

議会報常任委員会

委員長 矢口あかね
副委員長 上田 治美
委員 平林 泉

大和田耕一
小原 吉幸